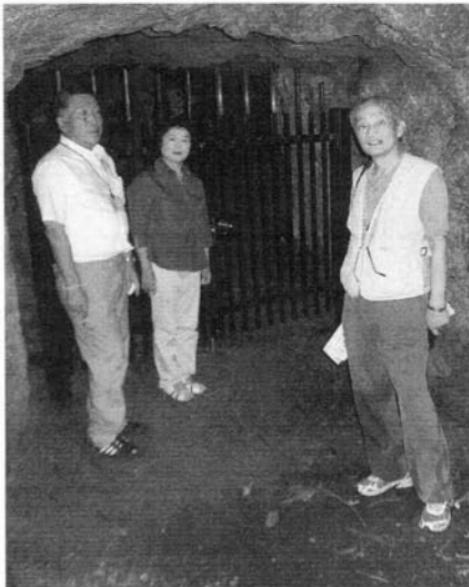


下仁田の近代史 埼玉の作家が執筆

中小坂鉄山 小説に



下仁田町の中小坂鉄山を舞台にした新作時代小説執筆のため、現地を訪ねた、たなかさん（右）

群馬にまつわる数々の時代小説を執筆している埼玉県上尾市在住の作家たなか・基さん（70）が、下仁田町にあった「中小坂鉄山」を舞台にした新作「中小坂鉄山秘聞（仮題）」を取り組んでいる。近代産業史で大きな役割を果しながら、一般にほとんど知られていない鉄山に再び光を当てるのが狙いという。

来年刊行予定

見され、良質な鉄鉱石が採掘されることから、幕末、群馬ともゆかりの深い幕臣、小栗上野介によって溶鉱炉建設予定地として建議もされた。維新後、明治7年（1874年）にイギリス人技術者によって洋式高炉が建設され、国内初の近代製鉄が開始されたといわれている。製鉄はその後、北西に離れた、国道254号沿いの北側山中にある。

中小坂鉄山跡は、下仁田町の中心部から約2・5キロの、大部分の坑道跡は草木に埋もれている。鉄山は江戸時代末期に発

見され、良質な鉄鉱石が採

掘されることから、幕末、群馬ともゆかりの深い幕

臣、小栗上野介によって溶

鉱炉建設予定地として建議

もされた。維新後、明治7年（1874年）にイギリ

ス人技術者によって洋式高

炉が建設され、国内初の近

代製鉄が開始されたといわ

れていた。製鉄はその後、

頓挫したが、鉄鉱石の採掘

は断続的に戦後まで続けら

れています。鉄鉄はその後、

5月、9月の3度、現地を

訪ね、一般には立ち入りが

られた。

たなかさんは、2001

年に定年退職後、本格的な

小説執筆を始めたが、化学

・医薬メーカーのサラリ

マンとして高崎で働いてい

たころ、大学の先輩から、

この不思議な鉄山の話を知

り、以来、テーマとして長

年、温めてきた。

執筆にあたり、今年2月、

5月、9月の3度、現地を

訪ね、一般には立ち入りが

禁止されている坑道内に

も、町の許可を得て入った。

も、町の許可を得て入った。ク委員会から「下仁田ジオパーク」として、日本ジオパークネットワーク（JGN）への加盟を県内で初めて認定された。中小坂鉄山も特異な地形（ジオサイト）の一つに数えられる。ジオパークによる町づくりを進め金井康行町長も「世間から忘れられた中小坂鉄山が注目されるのはありがたい」と小説の出版を心待ちにしている。

下仁田町は、世界的に珍しい地質や地形を持ち、今月に入って、日本ジオパーク、幻冬舎ルネッサンスから出版予定。

N）への加盟を県内で初めて認定された。中小坂鉄山も特異な地形（ジオサイト）の一つに数えられる。ジオ

パークによる町づくりを進め金井康行町長も「世間から忘れられた中小坂鉄山が注目されるのはありがたい」と小説の出版を心待ちにしている。

下仁田町は、世界に珍しい地質や地形を持ち、今月に入って、日本ジオパーク、幻冬舎ルネッサンスから出版予定。

N）への加盟を県内で初めて認定された。中小坂鉄山も特異な地形（ジオサイト）の一つに数えられる。ジオ

パークによる町づくりを進め金井康行町長も「世間から忘れられた中小坂鉄山が注目されるのはありがたい」と小説の出版を心待ちにしている。

下仁田町は、世界に珍しい地質や地形を持ち、今月に入って、日本ジオパーク、幻冬舎ルネッサンスから出版予定。

N）への加盟を県内で初めて認定された。中小坂鉄山も特異な地形（ジオサイト）の一つに数えられる。ジオ

パークによる町づくりを進め金井康行町長も「世間から忘れられた中小坂鉄山が注目されるのはありがたい」と小説の出版を心待ちにしている。

下仁田町は、世界に珍しい地質や地形を持ち、今月に入って、日本ジオパーク、幻冬舎ルネッサンスから出版予定。

N）への加盟を県内で初めて認定された。中小坂鉄山も特異な地形（ジオサイト）の一つに数えられる。ジオ

パークによる町づくりを進め金井康行町長も「世間から忘れられた中小坂鉄山が注目されるのはありがたい」と小説の出版を心待ちにしている。

下仁田町は、世界に珍しい地質や地形を持ち、今月に入って、日本ジオパーク、幻冬舎ルネッサンスから出版予定。